



規格化・標準化への中部電力の取り組み

～持続可能な社会の構築と市場拡大を目指しています～

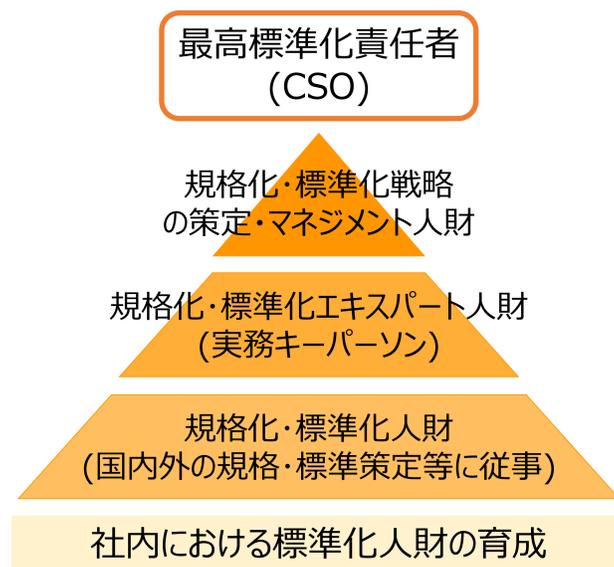
01 規格化・標準化の背景・目的

デジタル化の進展やSDGs・カーボンニュートラルなど、世界中で産業構造やビジネス環境が大きく変化するなか、国際標準化をはじめとしたルール形成が、社会的な課題の解決、新産業・新市場の創造、企業の経営戦略ツールなどとして注目され、世界的なルール形成競争が激化しています。

日本では政府政策会議・知的財産推進計画2023にて「標準の戦略的活用の推進」を掲げ(2023.6.9)、経営戦略として国際標準を戦略的に活用する取組が一層強化されるよう行動変革が必要だと指摘しています。

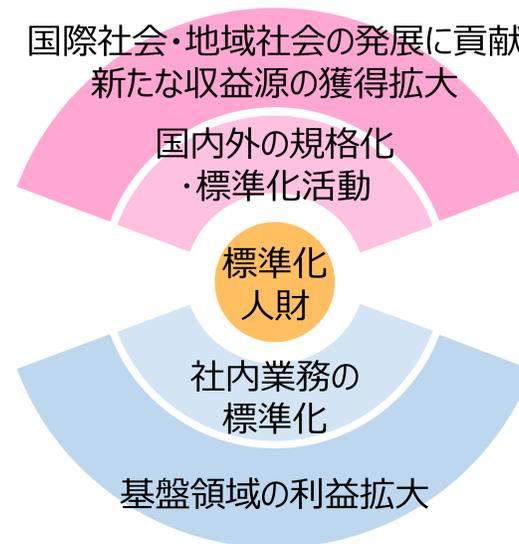
02 規格化・標準化の取り組み概要

- 中部電力は2023年4月1日に最高標準化責任者(CSO) 兼 最高技術責任者(CTO)を設置しました。
- 中部電力グループは、これまでもIEC規格(国際電気標準会議)をはじめとした国内外の各種規格策定に貢献しています。
(2023年現在 国内外の規格策定に関わる延べ人数: 320名)
- 今後、産・学・官の連携を強化し、中部電力グループ経営ビジョン2.0の実現に必要な重点分野を中心に、国家プロジェクト等の技術研究開発業務を通して、戦略的に標準化活動を加速させます。
- 国内外の規格化・標準化活動に併せ、社内における業務の生産性向上を図るため、社内業務の一層の標準化にも取り組みます。



03 社会実装に向けた取り組み

- 技術研究開発部門、知的財産部門、人財戦略部門、経営管理部門等のグループ共通組織と事業会社、グループ企業が連携し、一体となって規格化・標準化活動に取り組んでまいります。
- 規格化・標準化の成果は、国家プロジェクトや中部電力グループの事業を通じて社会実装し、国際社会・地域社会の発展に貢献するとともに、新たな収益源の獲得・拡大を図ります。
- 社内業務の標準化による生産性向上により、基盤領域の利益拡大を図ります。
- 規格化・標準化人財を育成し、将来にむけて発展的に取り組みます。



04 規格化・標準化活動事務局より

技術研究開発に関わる研究専門員と知的財産戦略に関わる弁理士が事務局となり、中部電力グループの実効的な規格化・標準化の取組をサポートしていきます。

中部電力(株)技術開発本部 技術企画室



企画グループ 吉田課長



企画グループ 末田副長